

和歌山だよいい

平成22年
(2010)

7月号



あらぎ島 (有田川町)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P7
3. お知らせ…………… P8～P11
4. ふるさと歳時記…………… P12



ツユクサ

「日々の感激」

通商産業省(現在の経済産業省)の一年先輩に田中伸男さんという人がいます。現在、国際エネルギー機関(IEA)の事務局長をしています。日本人で国際機関の長として活躍している数少ない一人です。その田中さんは、私が一年生として入省した生活産業局総務課の一年先輩で、役人生活のイロハを私に教えてくれた人です。通産省という所は、入ったばかりの一年生に大変な役割を与えます。仕事の時間的段取りを考え、全局に指令をする役割です。一年生にそれをやらせながら、仕事のやり方を覚えさせるのです。従って大変な役割と言いましたが、つまるところ雑用の固まりです。それも信じられないほど何でもかんでも来てしまうので、連絡ミスでとちり、やり過ぎてはしかられ、散々な目にあいます。

こうしてヘトヘトになってしまうのですが、そういう時、先輩の田中さんが「仁坂ちゃん(昔はこう呼ばれていたのですね)、何事も日々の感激だよ」と言ってくれるのです。その通りだと思いました。興味を持って、周りを見続けたら、ものすごい多くのことが見えて来ます。新聞の一面を飾るような仕事のほんの小さな断面がチラッと見えることもあります。日常的なことでも感激はたくさんあります。間に合うかと危ぶまれたコピーが、周りの先輩方の応援で夜明け前にできあがったり、少しおっかないベテランのタイピストさんが急ぎのタイプを速技で仕上げてくれたり、大小さまざまな日々の感激があります。

考えてみたら、私は、こうした日々の感激に助けられながら、ずっと毎日人生を送ってきた感がします。大失敗して真っ青になった時、いつも厳しい局長が「まあよくあることよ」とニコリ笑ってくださったり、読み筋どおりに事が進んで仕事が成就したり、まさに「日々これ感激」です。

知事としての日々もそうでした。ウルトラ C 級の難事業が上手くいった時もそうですが、町行く人に「頑張ってるな」と声をかけられたり、エレベーターの中でご高齢の女性に「県民の友を読ませてもらっていますよ」と会釈をされた時など、感激で仕事の疲れなど吹っ飛んでしまいます。



ワールドカップ
「日本対パラグアイ戦」を応援する
仁坂知事。

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●海南市出身の駒野選手が「2010 FIFA ワールドカップ南アフリカ」で大活躍！！

★日本代表チームをみんなで応援しました！

- ・「2010 FIFAワールドカップ南アフリカ」に海南市出身のJリーガー・駒野友一選手（ジュビロ磐田）が日本代表として選考され、ドイツ大会に引き続き2大会連続での出場を果たしました。
- ・6月14日と29日に、和歌山市内のホテルアバローム紀の国で、予選リーグのカメルーン戦と、決勝トーナメント1回戦のパラグアイ戦に駒野選手の親族の方々、ジュニア時代の指導者、仁坂知事をはじめとする大応援団で声援を送りました。
- ・カメルーン戦では、1対0で日本が勝利、参加者全員で喜びを分かち合いました。決勝トーナメントのパラグアイ戦では、素晴らしい試合を展開したもののPK戦で敗退、惜しくも決勝トーナメント1回戦突破はなりませんでした。
- ・駒野選手の活躍は、和歌山県民に大きな夢と感動、希望と勇気を与えました。



左から児島先生（駒野選手の恩師）、仁坂知事、母：駒野由美子様

★駒野友一選手の活躍に和歌山県スポーツ特別賞を授与

・7月4日、「2010 FIFAワールドカップ」において、4試合フル出場を果たし、日本チームをベスト16に導く大活躍をされた駒野選手に、和歌山県は、県民に夢と感動、希望と勇気を与えてくれたとして、「和歌山県スポーツ特別賞」を授与しました。

・授与式の会場には、約300名の関係者やサポーターが駆けつけ、駒野選手の功績を祝福しました。

・駒野選手は、「予想以上の多くの皆さんに迎えられてびっくりした。この賞に恥じないように、和歌山県を背負ってJリーグでも活躍したい。」と決意を新たにし、さらに、表彰の御礼にと和歌山県にサッカーボール500個を寄贈していただきました。

・駒野選手の今後の活躍に、皆様方の応援をよろしく願います。



● 第 70 回国民体育大会<紀の国わかやま国体>の開催が内定

・ 7月7日に開催された財団法人日本体育協会理事会において、2015（平成27）年の第70回国民体育大会の和歌山県開催が正式に内定しました。

・ 和歌山県での国体開催は、昭和46年の第26回大会（黒潮国体）以来、44年ぶりとなります。

・ 二巡目和歌山国体の開催が、本県におけるスポーツの振興はもとより、県民の皆様が全国から訪れる選手・監督、大会関係者等大勢の方々と交流の輪を広げることで、和歌山の魅力を全国に発信する機会となるよう、また、国体開催後においても、スポーツによる“まちおこし”やスポーツに親しめる環境づく



り等、県民の皆様がスポーツを通じて幸せを実感できる「元気な和歌山」の実現に繋がるよう、全力を挙げて取り組みます。

平成27年の「紀の国わかやま国体」を、いつまでも記憶に残るすばらしい大会として成功させるため、一層のご支援とご協力をお願いします。

● 第 70 回国民体育大会和歌山県競技力向上対策本部特別強化選手指定証交付式

・ 6月24日、平成27年に開催する「紀の国わかやま国体」で活躍する選手を育成するため、それぞれの競技で力を発揮している273名を特別強化選手として指定しました。

・ 交付式には、成年種別を代表して、兄妹でそろって世界体操選手権大会に出場（史上初）の田中和仁選手と田中理恵選手が、少年種別を代表して、全国少年少女選抜レスリング選手権大会で優勝した三輪選手と、全日本少年少女武道錬成大会なぎなた競技で優勝した新本選手が出席し、仁坂知事から指定証が交付されました。

・ 田中選手は「和歌山県の特別強化選手に指定されたことで自覚と誇りを持ち、今まで以上に練習に励み、郷土の代表として5年後にはすばらしい結果が残せるように努力していきたい。」と力強く決意表明を述べました。



(写真：左から特別強化選手に指定された田中選手(体操)、田中選手(体操)、三輪選手(レスリング)、新本選手(なぎなた))

●「若者総合相談窓口」(With You)を開設！！

・7月1日、県では、ニート、ひきこもりなど若者が抱える様々な問題や悩みに対応するため、若者総合相談窓口【愛称：With You (ウイズ・ユー)】を開設しました。この愛称は「あなたと一緒に」「いつも見守っています」という相談姿勢を表現しています。

・近年、ニート、ひきこもりのほかにも不登校、高校中途退学者など、いわゆる社会生活を営むうえで困難を有する青少年が増えています。本県においてもその数は、10,000人にも及ぶと推計されています。そのため県では、早期かつ総合的な青少年の支援体制づくりが必要であるとの考えから、専門の相談員がおおむね15歳以上の若者及びそのご家族の方などを対象に様々な相談を受け、関係機関と連携しながら、就学・就労など自立へ向けた支援を行っていきます

・電話相談（平日）以外にメールやFAXでの相談にも24時間に対応します。

若者総合相談窓口 **ウイズ・ユー**

With You

あなたのココロとつながりたい

モヤモヤ・イライラしていませんか？ (>_<)

平成22年 **7月1日**から相談スタート

電話相談 **073-428-0874**

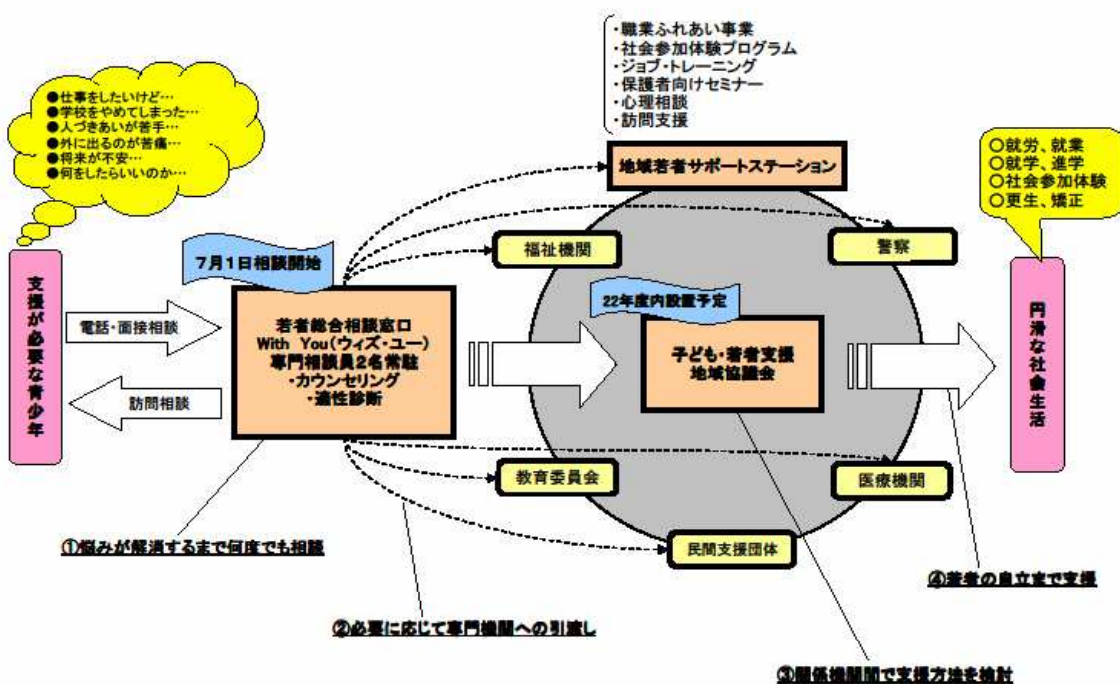
メール相談 <http://with-you-wakayama.jp>

FAX相談 **073-428-0880**

受付時間：月～金曜 9～17時 (祝日、年末・年始を除く)

秘密厳守 無料相談

若者総合相談窓口設置に伴う支援イメージ



●「在京和歌山県人会通常総会」開催

・6月13日、ホテルルポール麹町（東京都）において、在京和歌山県人会通常総会が開催されました。二階衆議院議員、仁坂知事、坂本副議長が来賓として出席しました。

・知事は、東京で活躍されている県人会の方々に、和歌山県の近況や県の新政策等について報告するとともに、来年は全国植樹祭が、また、平成27年には国体が和歌山県で開催されることなどを話しました。

・在京和歌山県人会の方々には、ふるさと納税等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

22年度 在京和歌山県人会 通常総会



挨拶する竹中会長

●「京都和歌山県人会定時総会」開催

・6月27日、ホテル平安会館（京都市）において、京都和歌山県人会定時総会が開催されました。

・総会では、松井会長の挨拶、八塚事務局長の事業報告などの後、同志社大学 岡本名誉教授が「まちおこしと地元学」と題して記念講演されました。

・懇親会では、梅酒や梅干しの試食・試飲をいただいたり、会員の皆さん全員で、カラオケにより楽しいひとときを過ごしました。

・京都和歌山県人会の方々には、ふるさと納税等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。



挨拶する松井会長

●2010年モンド・セレクション受賞事業者が受賞報告

・6月24日、食品の国際品評会「モンド・セレクション」を受賞した県内の事業者の方々が仁坂知事を訪れました。

・受賞されたのは20社の方で、本県の特産品である梅や醤油、ごま豆腐をはじめとした38品が世界的に高い評価を受けました。

・今回の全国でのモンド・セレクション受賞者の約10%が和歌山県の事業者です。和歌山県の人口は日本全体の約1%ですから、数字を見てもいかに和歌山県の事業者が頑張っているかわかります。

・田端酒造株式会社の「羅生門 龍寿」は22年連続での最高金賞受賞となり、これは世界初の快挙です。

・また、銀賞を受賞した有限会社深見梅店の「フルーツ梅」や4年連続最高金賞を受賞した合名会社丸正酢醸造元の「那智黒米酢」、5年連続最高金賞を受賞した湯浅醤油有限会社の「生一本黒豆醤油」が、ミシュランガイドの星を獲得しているヨーロッパのレストランで使用されるなど、海外の最高峰の料理人の支持を得ています。



今月の和歌山県政トピックス

・ モンドセレクションを受賞されたのは、次の方々です。

食品流通課把握分 20社38品

※昨年19社34品

事業者名	受賞商品	受賞内容
(株) アセロラフーズ 〈田辺市〉	アセロラ黒酢 グルコサミンアセロラ黒酢	最高金賞【初】 金賞【初】
E H製菓 (株) 〈田辺市〉	黄金の哲学 (カステラ)	金賞【3年連続】
井口食品工業 (株) 〈みなべ町〉	原酒 紀州絵巻 梅子桜子 デザート梅 梅の舞	最高金賞【3年連続】 最高金賞【3年連続】 最高金賞【3年連続】
伊藤農園 〈有田市〉	はっさくしぼり きよみしぼり みかんしぼり	銀賞 銀賞 金賞【2年連続】
雲水 〈日高川町〉	釣鐘まんじゅう	最高金賞【初】
(株) 岡畑農園 〈田辺市〉	梅菓匠 幻の梅 1kg 幻の梅 500g 梅宝水 720ml 濃縮タイプ 梅宝水 100ml ストレートタイプ	最高金賞 金賞【2年連続】 金賞【2年連続】 金賞【2年連続】 金賞【2年連続】
おぎきのひもの 〈串本町〉	太刀魚みりん干し	銅賞
(株) 角濱総本舗 〈高野町〉	ごま豆腐	金賞【4年連続】
川口水産 (株) 〈有田市〉	地うなぎ	銅賞
(株) 紅梅園 〈田辺市〉	完熟梅シロップ デザート 梅の夢 生梅ジャム	最高金賞【初】 最高金賞【3年連続】 金賞【2年連続】
サカイキャニング (株) 〈橋本市〉	霊峰高野山 大師の水 500ml 霊峰高野山 大師の水 2L	最高金賞【4年連続】
(株) 大覚総本舗 〈かつらぎ町〉	深山の恵み 聖地高野山系の水 高野山ごま豆腐 丸カップ 黒 高野山ごま豆腐 丸カップ 白 和風ブラマンジェ	金賞 銅賞 銀賞 銀賞
田端酒造 (株) 〈和歌山市〉	羅生門 龍寿 (日本酒)	最高金賞【22年連続】 ※世界初
(株) 南紀白浜富田の水 〈白浜町〉	南紀白浜 富田の水 1.3L 南紀白浜 富田の水 20L	最高金賞【9年連続】 最高金賞
(株) 濱田 〈田辺市〉	金箔入り梅酒「HAMADA」	最高金賞【3年連続】
(有) 深見梅店 〈上富田町〉	フルーツ梅	銀賞
(合) 丸正酢醸造元 〈那智勝浦町〉	那智黒米酢	最高金賞【4年連続】
丸新本家 (株) 〈湯浅町〉	九曜むらさき醤油 ゆずポン酢	最高金賞【5年連続】 金賞【3年連続】
紅葉屋本舗 〈串本町〉	本練羊羹 竹皮包み 柚子羊羹 竹皮包み	金賞 金賞【4年連続】
湯浅醤油 (有) 〈湯浅町〉	生一本黒豆醤油	最高金賞【5年連続】

(五十音順にて記載)

●和歌山産桃のトップセールス！（大阪市中心卸売市場）

～ 主力品種「白鳳」の出荷を迎え、食の安全性などをPR ～

・7月10日、午前5時より大阪市中心卸売市場本場（大阪市福島区野田）において紀の川市・JA紀の里主催の“桃のトップセールス”が行われました。

・トップセールスには、中村紀の川市長、厚地JA紀の里組合長をはじめ、仁坂知事もハッピー姿で出席しました。

・知事は挨拶で、和歌山県産の桃の美味しさだけではなく「残留濃度を二重にチェックする“安全プラス”」「糖度計の設置」「消費者ニーズに合わせたパックでの出荷」など、安全、安心に向けた取り組み、消費者ニーズに合わせた取り組みをPRしました。

・その後、試食用に用意された桃は、その美味しさをよく知る市場関係者に配られ、あっという間になくなってしまいました。



●平成22年度農林水産業戦略プロジェクト第2弾！！

・6月30日、第1弾「伊都地方の鶏卵」に続き、第2弾として「高糖度高原トマト（おひさまとまと）のブランド育成と販路拡大」プロジェクトを承認しました。これで、平成21年度からの新農林水産業戦略プロジェクトの承認数は18プロジェクトとなりました。

○プロジェクトの概要（生石高原野菜共撰出荷組合（実施地域：有田川町））

透湿耐水マルチ（マルドリ）栽培等による高糖度トマト（おひさまとまと）の生産及び非破壊糖度計の導入、市場と連携してスーパー等への販路開拓。



生石地区の高原トマト



おひさまとまと

・今後も、優れた地域産物を生かし和歌山の農林水産業がますます元気になるよう積極的に働きかけ、取組の拡大に努めてまいります。

●初の和歌山三参詣道完全踏破証明書を授与！

・6月30日、和歌山三参詣道（熊野古道中辺路・大辺路・高野山町石道）の完全踏破を果たした2人に、仁坂知事から証明書及び記念のオリジナルストラップを授与しました。証明書の発行は今回が初めてです。

・和歌山県では、平成20年度から21年度にかけて、熊野古道中辺路36カ所・大辺路6カ所、高野山町石道7カ所に、押印所を整備しています。専用のそれぞれの押印帳、合計49カ所のスタンプを集めた方全員に、完全踏破証明書を発行することで、世界遺産である県内の参詣道全ルート踏破への動機付けを促し、来訪者の増加やリピーター化、長期滞在化につなげていきたいと考えています。

完全踏破証明書の詳細については下記をご覧ください。

<http://www.wakayama-kanko.or.jp/news/2010/0209.html>



●「企業の森」事業に1団体が参画し、54箇所に

・6月30日、紀南地方で生コンクリートの製造販売を行っている事業者で構成する「紀南生コンクリート協同組合」が「企業の森」事業に新たに、参画することとなり、県庁で調印式を行いました。（写真）

・「企業の森」は県内で現在53箇所あり、今回の「生コン組合「40周年の森（上富田町）」の参画で54箇所となります。「40周年の森」は、水源林として整備することを目的として、今後10年に亘り、ウバメガシ、ヤマザクラ、イロハモミジ等を育林していく予定です。和歌山県長期総合計画では、100箇所に増やす目標を掲げています。





プレミアム和歌山

「プレミアム和歌山」のモバイルサイトを開設しました！！

県では、「安全・安心」を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」の視点で、幅広い分野から優れた県産品を選定・推奨する「和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度」を広く県内、県外の方にPRするために、新たに7月13日からモバイルサイトを開設しましたのでお知らせします。

また、モバイルサイトアドレスのQRコードも作成してしますのでご活用下さい。今後、プレミアム和歌山カタログなどに掲載し、積極的にPRしていきます。

【プレミアム和歌山モバイルサイトの概要】

1. 内容

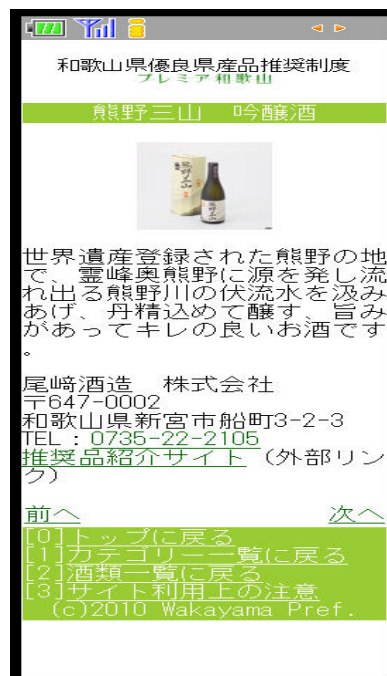
- ・プレミアム和歌山のニュース、推奨品カタログの閲覧等が可能です。
- ・プレミアム和歌山推奨品によっては、事業者などの推奨品の購入等ができる別サイトへのリンクも掲載。購入サイトへジャンプして、推奨品の購入も可能です。

2. アドレス及びQRコード

- ・<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/mobile/index.html>
- ・和歌山県モバイル情報館からでもアクセス可能。



↑
トップページ



←
推奨品紹介ページ



●プレミアム和歌山の現在の認定状況

製造物分野 269品目（加工食品234、伝統的工芸品17、産業製品18）
 生鮮物分野 47品目（農産物28、畜産物8、特用林産物1、水産物10）
 観光資産分野 5品目（祭り4、料理1）



まるかじりわかやま

和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

ご褒美夏デザート☆☆わかやまの桃はいかが？

甘〜い香りが漂っています♪



みずみずしい桃…「いただきまーす！」
(食べる2〜3時間前に冷蔵庫で冷やすとおいしさアップ)



和歌山県の桃は紀ノ川流域を主な産地とし、水はけの良い砂地と温暖な気候の下で育てられています。果実1つ1つに袋をかぶせて病害や虫から桃を守るなど、生産者のたゆまぬ努力によってできた上品な色・甘い味・豊かな香りの三拍子が揃ったわかやまの桃。

暑い日が続く中、高級感溢れる桃を“ご褒美デザート”として、そのまま食べるのもGood！ですが…オシャレで贅沢なピーチのブラマンジェ作りに挑戦してみたいはいかがでしょうか？今回、わかやま大好きサポーターの料理教室の安田先生が、わかやまの桃を活かした簡単レシピを伝授して下さいました。

☆☆贅沢ピーチのブラマンジェ☆☆

濃厚なミルク味のブラマンジェと自然な甘さが際立つピーチソースの絶妙なハーモニー♪

☆☆材料(2個分)☆☆

- ・わかやまの桃 1個
- ・牛乳 130ml
- ・バニラエッセンス 適量
- ・生クリーム 80ml
- ・砂糖 20g
- ・粉ゼラチン 6g
- ・砂糖 大さじ 1
- ・レモン汁 小さじ 1

☆☆作り方☆☆

- ①鍋に牛乳・バニラエッセンスを入れ、弱火にかけて温める。
- ②火を止め、砂糖と粉ゼラチンと生クリームを加え、よく混ぜて溶かす。
- ③粗熱をとって冷蔵庫で固めると、ブラマンジェが出来上がる。
- ④桃は皮をむいて種を除き、1/8を1cmの角切りにする。
- ⑤残りの桃をミキサーに入れ、そこにレモン汁・砂糖を加えてピーチソースを作る。
- ⑥③のブラマンジェが固まったら⑤を流し入れる。
- ④の角切りにした桃をトッピングして完成〜！



桃を食べて、あなたも桃美人♪

桃はおいしいだけではありません！桃には体に優しい栄養分がたくさん含まれているのをご存じでしたか？

☆美肌美人☆

桃は食物繊維が豊富。この食物繊維は便秘解消の効果があることで知られています。体の中からキレイにすることで、美肌美人になりましょう♪

☆スリムボディ☆

桃には糖質や脂質の代謝を助け、エネルギーを作り出すのに必要なビタミンのナイアシンが多く含まれており、新陳代謝の促進が期待できます。



あら川の桃を使ったランチパック～桃ジャム&ホイップ～が新発売！

山崎製パン株式会社から人気商品「ランチパック」のご当地シリーズとして「桃ジャム&ホイップ(和歌山県産あら川の桃ジャム使用)」が7月1日に新発売！この商品には原材料として県産品を使用し、本県との協力により開発されたものであることを示す和歌山県食材提案のマークが入っています。

この夏は、ランチパックを片手にわかやまのビーチへ出かけよう！



わかやまのMOMO (PEACH)、シンガポールへ行く



今年度の海外プロモーションの第1弾として、7月5日から1週間、シンガポール伊勢丹で桃をメインとした「和歌山フェア」を開催！

他にも、わかやまの桃は台湾や香港など東アジアへも輸出され、大変人気があるんですよー！この調子で、世界中の人達にWakayama Peach を届けていきます！！

←売り場はわかやまの桃一色♪(昨年フェアの様子)

桃源郷へようこそ

ここは桃色の霞とほのかに甘い香りで包まれた場所、和歌山県紀の川市桃山町。その光景はまるで「桃源郷」のよう。毎年4月上旬ぐらいが見頃となっています。

詳しくは、あら川の桃振興協議会のHPをチェック！
(<http://www15.ocn.ne.jp/~aramomo/index.html>)



～ あらぎ島、有田川の鶺鴒、「観光巡回バス」でまわる旅 ～

あらぎ島 (表紙写真参照)

・「日本の棚田 100 選」に選ばれている有田川町の「あらぎ島」。開墾されたのは江戸時代。開拓当時のすがたを今にとどめています。夏には、若稲が青々とし、まるで緑のじゅうたんが目の前に広がっているようです。9月6日には、地元若手有志「紀清の集い」による「キャンドルライトイルミネーション」を開催。1,700本余りのローソクが夜のあらぎ島を浮かび上がらせます。

鶺鴒

・約700年の歴史がある有田川の鶺鴒。和歌山県の指定文化財に登録されている伝統文化です。有田川の鶺鴒はとてもめずらしい、全国で唯一伝承されている「徒歩(かち)漁法」です。「徒歩漁法」とは?…鶺鴒匠自らが川に入り、一羽の鶺鴒と松明を操って、鮎を追う漁法。この貴重な伝統文化をより多くの方に知っていただき、地域も元気になることを願い、「有田川の鶺鴒 俳句大会」が行われています。「有田川の鶺鴒」をテーマ(題材)に有田川の豊かな自然や文化を俳句に詠んでみませんか?

俳句大会募集期間：平成22年6月1日～8月末日

募集対象：「鶺鴒」を題材に 小学生以上

お問い合わせ：有田川鶺鴒協同組合

〒649-0312 有田市星尾 37 0737-88-5151

巡回バスでまわる旅

・自然に囲まれ、温泉や観光スポットがいっぱいの有田川町。川遊びなどのアウトドアや山あいの涼を求める家族連れやグループで賑わいます。そんな有田川町には、とてもお得な「観光施設巡回バス」があるのです。藤並駅東口からスタートするこのバスは、町内の温泉や観光スポットをなんと無料で巡回。(上記で紹介した「あらぎ島」も巡回コースに入っています。)2つのコースがあり、Bコース「しみず温泉方面行きバス」では、この春リニューアルオープンした「しみず温泉健康館」や清水地区伝統文化の保田紙の紙すき・うちわ作りなどの体験を。もう一つのAコース「かなや明恵峡温泉方面行きバス」では、有田川鉄道公園やかなや明恵峡温泉(今春リニューアル。露天風呂が充実。ジェットバスも完備)などが楽しめます。この夏は、清らかな山里にぜひどうぞ。



(お問い合わせ先：有田川町藤並駅観光案内所 ☎0737-52-7345)

【運休日】毎週木曜日(ただし、祝日の場合は運行します。)

～編集後記～

サッカー・ワールドカップ・南アフリカ大会における、日本代表チームの予選リーグ通過、ベスト16という大健闘に日本国中が盛り上がりました。

ひたむきにボールを追い続け、頑張る代表選手達に、本当に勇気・元気・希望をいただきました。

とりわけ、海南市出身の駒野友一選手が4試合全てにフル出場。その体を張った守備で日本チームの大躍進に貢献したことは、和歌山県民に夢と感動を与えてくれました。

いつの時代でも、スポーツは感動を呼び、見る者すべてを元気にします。

今月号のトピックスでご紹介しましたが、「紀の国わかやま国体」が平成27年に開催されることが正式に内定しました。

大会スローガンは、「躍動と歓喜、そして絆」です。

各種競技に参加する選手の皆さん、のみならず、選手達をサポートする沢山の方々を「おもてなしの心」で和歌山にお迎えすること。そして、大会に参加する全ての皆さんに「夢と感動」を味わっていただけることを願い、県・市町村・県民を挙げて「紀の国わかやま国体」の準備を着実に進めていかなければならないと思います。

小暑を過ぎ、これから暑さが増してくる頃を迎えます。皆様にはお体に気をつけてお過ごし下さい。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2010年(平成22年)7月 NO.28

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022